

刊夕 日八月一



定額一冊五錢... 電話六二〇〇

臺灣紀行

伊東 一

基隆は臺灣で一番新しい市街とか人口は三萬位と思つた。平町位の大きな船が港の這入ると既に支那式の小船がたゞよつて居るの

田を耕して居る。この邊でさへ年二度の稲作があると云ふ。大きな白サギがその邊を飛んで居る。保護鳥故牛の背にも止まると云ふ。

【朝】味噌汁——里芋 親子井——鳥肉 三つ葉 蓮根 ごぼう 小付 里豆

つた者もたくさんありました。忠太は、心の中で「馬鹿な奴等だ」と、笑いながら毎日、毎日、御馳走ばかり喰べておりました。

「あゝ、これは毒だ、今すこしで、お前は、死んで了ふ處だ。そんなものは喰べない様にこの箱の中に捨てなさい。」

豆炭のお奨め 美味! 芳醇! 宗正らひた 山崎合名會社 電話一〇番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡 回文庫 電話六三〇番

豆炭の奨め 豆炭 壹袋 正味五貫目入 金八十錢 木炭が高くなり、新らしき燃料として豆炭をお奨め致します、豆炭の經濟なことは木炭の數倍です。是非一度御試用下さい。

發賣元 阿部石炭商店 電話三七番 三丁目 磐崎屋 酒店 電話六三番 白銀町 水野 氷店 電話二九九番

市原醫院 平町 田町 電話一四番 親戚總代 草野 森 長 虎 友人總代 山田 伊 德 佐 元店員總代 永鷺 猪大 小永 柴 野 山 狩 森 伊 和 山 寅 庄 小 平 次 平 勇 治 平 二 喜 雄

謹啓妻キヨ俄ニ心臓麻痺ヲ以テ一月七日午後一時死亡養父慶次郎ハ十數年中風症ノ處十二月十六日ヲ以テ死亡仕候此段謹告仕候永年格別ノ御交誼御指導ヲ賜リ此段厚ク御禮申上候 追テ葬儀ハ途中葬列ヲ廢シ一月九日午前十一時ヨリ午後一時迄九品寺ニ於テ同時ニ告別式相營ミ同時墓地ニ埋葬可仕候尙甚ダ乍勝手時節柄造花放鳥等ノ御供物ハ御辭退申上候 昭和八年一月八日 平町三丁目

月曜 是非

行詰つた小賣商

炭礦方面が好況の爲めに平地方は幾分活氣付いたが如き観がないでもないが、一般の小賣商人に、歳末から新年にかけての商況を聞くに、依然として不振の嘆聲を洩らし、然も此儘で推移する時は共倒れの外なしと、前途に多大の不安を抱いて居る。

農村救済も緊急を要する事に違ひないが、更らに又中小商工業者に對する應急策が益々重要性を加へて來た。

いま試みに現在の小賣商店の不景氣が何處から湧いて居るかを探ねて見れば、金の再禁止に依つて爲替が下落し、國際商品は是れに比例して騰貴して居るに拘らず、國內では一般の購買力が未だ起るに至つて居ない結果、國內商品の價格が是れに伴はない、即ち國際商品と國內商品の均合の取れない處に不景氣の原因がある。

昭和六年の十二月、即ち金の再禁止をやつた時の物價を百として、昨年の六月までの計數を調べると、國際商品の中で輸出商品は、其百であつたものが百七十になつて居る、また輸入品は百であつたものが百六十になつて居る、然るに夫等の總ての物を引つ括めた卸賣物價は百卅、また日本銀行の小賣物價指數は、百

ものが僅か百十にしかなつて居ない。此の結果として小賣商人は卸賣物價が騰つても、購買力が現はれて來ないからお得意からは是れに伴ふだけの引上げが出来ない、引上げられないから問屋を喰ふといふことになる、是れが今日の實情である、國際商品と國內商品の均合が適當な所に取れるといふ時が勞銀の騰る時である、而し目下の小賣商店は其時迄の我慢が出来ぬ迄に行詰つて居る。

此の窮狀を打開して生氣を吹き込むには、尠くとも金融の圓滑を圖らなければならぬのであるが、平地方の銀行は整理に急いで、貸出しを手控えて居る是れでは到底中小商工業者の味方としての機能を發揮せしめる事は至難である、故に此際は信用組合の如きが率先して低資の吸集に努めて、思ひ切つた金を拋出してカンフル注射に役立たしめ、時期到來迄の命脈を保たせる事より以外に方途はないと思ふ。

署員協力し

縣下第一位

平署の犯罪件數 最高記録を破る

平署で昨年中に取扱つた犯罪送致件數は九百一十一件にて前年の六百五十一件と較べ二百六十件多く従來同署の最高記録七百五十件をも突破し縣下第一位を占めて居るので横山署長以下全署員の協力精神は縣下各署より賞讃されて居ると

學生にも

自力更生が

何より肝要

けふの學期始めに

正木磐女校長語る

學生としての決算期である第三學期は今日から始まる。平町に於ける各學校は何れもけふ一齊に始業式を舉行了した、この三月末晴の榮冠

始めの日にあつて磐城高女校長正木貞次郎氏は次の如く語つた

『誠に畏れ多い事ではありませんが、我が皇太子殿下の御誕生後最初の新年を迎へ、又非常時の聲高い折柄に鑑み、我々として又學生としても百尺竿頭更に一步を進め、心氣一轉して今學年度の終末を飾るべく凡ゆる努力を惜まらず眞に今學年度を有意義たらしむべく心掛けねばならぬ、それには先づ各方面に自力更生の叫ばれてゐる時であるから學生はまた學生としての自力更生の計畫がなければならぬ、學生の自力更生——それは學生の本分である、夫れには生徒各々その學年に相應した勉強に勵むことである、そして如何に學力が優秀卓越してゐても肝心の本人の體力がそれに伴はないときその結末は餘りにも明白であるから先づ身體の強健を圖らねばならぬ、最後に第一、二學期の成績の餘り芳ばしからざる生徒はこの第三學期を目指して一意成績の進歩向上を計り從來の不振を一掃してもらいたい、このことは學校及び各家庭協力して成果を得る様努力しなければならぬことである』云々

湯本町役場

新廳舎落成

既報湯本町では昨年十一月頃より工費一萬四千餘圓を以つて現町役場裏に新廳舎を新築中であつたが最近漸く落成したので来る十三日午前十時より新廳舎で盛大な移廳式を舉行すると尙當日は移廳記念としての郡下武道大會を催すと

麥作

幾分徒長

昨今の晴天續きの爲麥作の被害を懸念されてゐるが郡農會には未だその報告がないが例年に比しや、氣候温暖なる爲徒長の氣味があるが此外別段大した事はな

債務調停

事務多忙

平區才判所に於ける臨時金錢債務調停申立件數は新年に入、日平均三件宛にて

て催されると

磐女新任教諭

過般退職された磐女教諭鈴木應善氏の後任として岩崎敏夫氏が本日着任されたので同校職員は午前十一時より會議室に於て歓迎會を催した

小川江筋

工事開始

既報小川江筋組合の水路改修工事は昨七日より工費五萬二千餘圓を以つて下小川平窪兩村地内共に着工したので組合議員二十五名は明日九日工事現場の視察を行ふ

町村長

總會協議

既報石城町村長支會總會は来る十二日午前十時より平町役場會議室に開かれるが當日の協議案左の如くである

木炭同業

代議員改選

濱三郡木炭同業組合では來月一日組合代議員卅二名の改選を行ふが選舉有資格者二千二百餘名の選舉人名簿を来る十三日より七日間平富岡、原町の三ヶ所で縦覽に供すと

平町人

回出生

△田町七一 當時東京市小石川區駕籠町二一五仁井田秀穂氏二男重雄

御用命は印刷物
常磐日報印刷株式會社
電話三六〇番

地下に潜む

未發火のダイ

鶴はしを打ち降し
腹部に大穴
内郷村大字白水字入山三一居住坑夫高橋勘左工衛門(三)は昨七日午後一時半頃王城炭礦第三坑内で作業中未發火の儘埋没されてあつたダイナマイトを知らずに鶴はしで打降したので轟然爆發し腹部其他に重傷を負ひ同日午後九時頃絶命した

陸相の

平癒祈願

神職會申合
神職會石城支部では六日午前十時より平町扇屋に於て總會を開き豫算の審議をしたが緊急事項として病中の荒木陸相に對して見舞狀を發すること及び平癒祈願をする事となつた

平署の

寒稽古

平警察署では本八日より十七日迄剣道の寒稽古を毎日午後二時から四時迄同署道場で行ふが一般來會者を歓迎する

水車から

火を吐く

石城郡川部村小川芳賀一郎

平誤つて二十餘尺下の坑道に墜落頭部を打撃して即死した

第二校の年賀

平第二小學校では例年の如く舊臘十二月二十七日より校内年賀郵便を取扱つたが五千餘通に達し昨年比し約千通程多かつたと

坑道で

墜落惨死

湯本町字日渡六十百治妻淺間ヒサ(三)は六日午後三時頃入山炭礦第四坑内で作業

失戀の青年

夜半に服毒

旅館に投宿して

生命覺末なし

今晩午前一時半頃平町前福住旅館に投宿した石城郡大野村字山田小濱七五傳之助四男農木村武夫(三)は家人の寝靜まるのを待つて猫いらずを多量に嚥下して苦悶し始めたのを同旅館の女中が發見大騒ぎとなり直に共濟病院に收容して手當を加へたが生命危篤であると原因は平町某醫院の看護婦に失戀した結果で物語りめいた事情が伏在するらしいと

平商の職員會

平商業學校では本日午前十時より職員會を開き生徒の家庭訪問の結果報告及び今学期間の計劃に就いて種々打合せた

赤井青年武道

赤井青年團では去る五日より農閉期を利用して農村弟子の武道奨励會爲め同村補習學校や小學校で剣道を行つて居る

明日のラジオ

九日

今晩は北西の風
曇明日は南西の風
曇後晴

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「名犬物語」小野進
後六、三〇 二元放送東西
對局將棋大手合(第七日)
後七、三〇 京城より中繼
講演「全國中繼放送開始
に際して」朝鮮總督府政
務總監 今井田清 徳朝鮮

雅樂合樂長春不老之曲李
王職雅樂部員流行歌「雪
の砂漠」外二ツ王壽福
後八、〇〇 絃樂四重奏
アレグロロコンブリオ外
三曲末吉雄二外
後八、三〇 落語「初天神」
古今亭今輔
後九、〇〇 映畫物語「征

三森氏一家に

重なる此不幸

賢夫人に次いで岳父逝く
更生をたどる折柄

平町三丁目龜田屋呉服店の三森虎雄氏は明大出の明敏な頭腦の所有者にして一時は平青年團長平庶民金庫常任理事とし家業の傍ら公共に盡瘁する處多かつたが其後商賣上に頓座を來し店舗を閉鎖して極力更生の途を圖つて居た處賢夫人として内助の功を積むキヨ子夫人が昨日午後一時頃突然心臓麻痺の爲めに急死するや中風症で十數年來病臥中の父慶次郎翁も此の悲嘆の爲めから病勢急に重なり本日午前九時相次いで逝去し重なる一家の不幸に周圍より同情の涙を注がれて居る

赤井夜警開始

赤井村字高萩部落では去る一日より夜警を開始したが全村各部落の夜警は来る十五日から一齊に行ふと

空大艦隊「生駒雷遊

後九、三〇 時報ニ
ス 氣象通報 番組豫告

明日の部

前七、〇〇 基礎ドイツ語
講座 橋本忠夫
前八、〇〇 家庭講座
「新年茶の湯懐石料理法」
栗山善四郎
後八、〇〇 掛合嘶 會我
廻家蝶八郎連
後二、〇〇 婦人講座「奉
祝賀の歌に就て」佐々
木信綱

後五、四五 受験講座「和
文英譯」女田實磨
後六、〇〇 子供の時間
管絃樂東京ラヂオオーケ
ストラ
後六、三〇 二元放送東西
對局將棋大手合(第八日)
後七、三〇 講演「天地に
榮ゆる時」武田祐吉
後八、〇〇 落語「御慶」三
笑亭可樂
後八、三〇 「神明恵和合
取組」松蓮しうか他
新歌舞伎座中繼

かまぼこ

製造

お結構

平町一丁目

お惣菜用
さつま揚
吉原揚

不寐寔

電話一四一番

レメドール

米國製劑皮膚病良藥

ヒビ、シモヤケ、ハタケ
ヤケド、キリキズ、タム

宮温湯

子宮病、根切藥、下腹や
腰の痛みをなほす事妙な
うまくてセキがヨクトマ

たんばあめ

エビハレ、ヤケド、キリ
キズ、淋病、梅毒、乳ハ
レ、すべて化膿したもの
を切らずに癒る

靈藥ムテキ

平町古鍛冶町一〇

阿康藥舖

縣社ノ下 電話四四番



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第百二十六回 徳川家に崇る村正

お雪改心の自害

徳川家に崇るなど申す思まはしき風説もある中に、殊更左様な不吉の刀をお求めに相成る事はお宜しからずと存じます」

と家老の彈正に斯ういはれると、流石に隠居も前に田邊紋彌を叱りつけたやうな譯にもいかず

隠「イヤ道理のことではあるが、しかしそれが果して山城の末孫であるか、身の素性も糺し、又刀も岡崎殿を介錯した村正であるか、一應本阿彌に鑑定させ、若しその刀であつたらば、右様の物を民間へ置くは却て禍ひの種であるから、いつそ買求めた上何れの寺院へなりと納め封じ込んで了つた禍らひを防ぐ事にもなる、兎に角その雪江と申す婦人が参つたら目通りを許すが宜い」

といふのは一心齋、隠居とはいひながらまださのみ老ひ朽れた年でもない、昨日見た雪江の容貌、天のなせる美形にして、定まる夫もないと聞いた所から、多少お色気もなきにしもあらず、刀も刀、又雪の景色

見たく思ふから斯ういつたその心底は彈正も知らないから

て、萬事お雪に言ひ含めるそれを呑み込んだおゆきは例の刀をもつて池田邸へ出かけたのが身の破滅、池田のいん居一心齋は待ち兼ねて居た所ゆえ、直ぐ奥へ通し身の素性を質した所、おゆきは傳九郎の入れ智恵もあり、自分も前に采女より聞いた事もあるから淀みもなく眞事虚事打混せて物語つて居る、所へ若い侍が侍「申上げます、御召しによつて本阿彌罷り出でまし



方へ沙汰をした、一方河合傳九郎車僞名天方采女固より悪事に抜目のない曲者なれば、昨日岡山のいん居がおゆきを見た時の様子がおゆきを見た時早くも察したから、一つは色気をもつて取入らんといふ野心もあつ

クリした、本阿彌といふは一軒ではないが、今世に刀の目利といへば青石横丁の實家が一番、御當家へ御出入の本阿彌とは若しや父の貞甫ではないかと胸藏かして居る所へ、内を連れて入り来るを見れば這はそれ

も如何に、這は如何に父よりもなほ我が身に於てははづかしい婿の三郎兵衛であるからアツと驚く、その様子に早くも目を留めた三郎兵衛も大いに驚いたが、大名の御前、何いふ事も出来ず、それい平伏して一心候に挨拶を述べて居る、その透を見ておゆきは終に堪りかねたものと見えて、彼の村正の刀を持つて突然その場を走せ出だし、縁より庭へ飛び降りると見えたが松の大樹の下へ参つて諸膝を突き、村正の刀を引抜くが否、袂をもつて中身を握り、柄を大地へ逆に取り、

一「サアそれは斯様くである」
と前日からの次第をいん居一心齋が自身に物語る、兎も角もおゆきが自害に用ひたかの刀を傷所から引抜き、洗ひ淨めて三郎兵衛がこれを鑑定すると正しく村正に相違ない、されどその采女を夫といはず兄といふしは一時を繕うための偽りにもせよ、さふいふものであつて見れば、その采女といへる者も召捕て取調べたら何ぞ怪しき事があるに相違ない、と、直に家來を右衛門の浪宅へ差向ける。

木村外科科門

院醫科外村木
際橋目丁五町平
りあ便の院入炊自
〇九三話電

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
丕看護婦會
電話三〇七番

鼻病、腦病
化學治療藥 **ビノサン**
小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓
蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他に類の無い一日一回の用藥で手軽に僅かな費用で治療の出来るビノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい
御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告
御持参の方に一人一回試藥致します

福島縣平町白銀町五(千代メッキ店裏)
石城郡特約店 **村山書店**
販賣御希望の方特に御相談に應ず

全外 般科
醫學博士 渡部 義夫
内小兒科
女 醫 渡部 きい子
平町田町大通り(電話二七七番)
入院應需 **渡部 外科**

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭 留守 居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や 雑用

派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話呼六五二)
上原家政婦會
會主 産婆 上原通子